

公 表 日

平成30年10月23日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成30年度九州河川維持管理検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 島本 卓三 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契約年月日	平成30年10月23日
契約業者名	(一社) 北部九州河川利用協会
契約業者の住所	福岡県久留米市宮ノ陣3-8-8
契 約 金 額	9,936,000円(税込み)
予 定 価 格	9,990,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成30年10月24日
履行期間(至)	平成31年 3月29日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成30年度九州河川維持管理検討業務 ✓
2. 履行場所 福岡県久留米市高野1-3-1 ✓
3. 契約の相手方 住 所：福岡県久留米市宮ノ陣3丁目8番8号 ✓
会社名：一般社団法人北部九州河川利用協会 ✓
電 話：(0942)34-6733 ✓
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号 ✓
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、九州地方整備局管内の河川における維持管理を適切かつ効率的に行うことを目的に実施するものである。

2) 業務の内容

本業務は、九州における施設の変状の状況、事務所が実施している評価判断について、妥当性を判断し、措置判断に関する運用等を検討する業務である。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低34者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」、「工程表」について、詳細かつ具体的な記述がなされていること、及び特定テーマの「河川維持管理しやすい方策を検討する際の留意点について」に対する技術提案における与条件との整合性について、九州の地質状況を踏まえた記述がなされており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 品質調査課長